



平成 28 年 1 月 8 日
海 上 保 安 庁

海洋空間データ基盤に関する国際会議をアジアで初めて開催します

アジア及び大洋州地域から関係当局職員を招聘し、海洋空間データ基盤(MSDI)の構築推進を目的とした国際会議をアジアで初めて開催します。

MSDI を活用することで、新たな海底資源開発の促進、海洋災害や気候変動への対応策の検討等が進むことが期待されます。

海上保安庁では、笹川平和財団海洋政策研究所の協力を得て、1月25日(月)及び26日(火)の2日間、アジア及び大洋州地域から関係当局職員を招聘し、海洋空間データ基盤(MSDI : Marine Spatial Data Infrastructures)の構築推進を目的とした国際会議を開催します。

MSDI とは、水深や海潮流等の自然情報、航路や漁業区域等の社会経済情報、藻場や環境保全区域等の環境情報といった海洋の種々の空間データを視覚的に分かりやすい形で提供する情報基盤のことです。国際水路機関(IHO)*では、MSDI の普及に向けた活動に加盟国と協力して取り組んでいます。

この国際会議はアジアでは初開催となり、アジア及び大洋州地域における MSDI の構築を促進するため、国際水路機関や、アメリカ、イギリス、日本等の海洋先進国の専門家による MSDI 整備の取り組みや利用例等の紹介、国内外関係企業による MSDI を利用した製品のデモンストレーションやポスター展示などが行われます。

1. 日程 (プログラムは別紙参照)

- | | |
|-----|----------------------------------|
| 第一部 | 平成 28 年 1 月 25 日 (月) 13:30~17:30 |
| 第二部 | 平成 28 年 1 月 26 日 (火) 08:45~17:30 |

2. 会場

日本科学未来館 7 階 未来館ホール(東京都江東区青海 2-3-6)
(ポスター展示会場は同館 7 階 会議室 3)

※国際水路機関 : International Hydrographic Organization (IHO)
海図や水路誌などの改善を通じて航海をより安全に行うことを目的として、1970 年に発効した「国際水路機関条約」に基づく国際機関 (加盟国 : 2015 年 11 月現在 85 カ国)

3. 参加について

- (1) 通訳:日英同時通訳付
- (2) 定員:300名
- (3) 参加費:無料、参加登録不要、ただし先着順

4. 取材の申し込み

本ワークショップの取材を希望される場合は、予め以下までご連絡をお願いします。

取材申込み先:海上保安庁海洋情報部技術・国際課国際業務室

電 話:03-5500-7124 (内線 2501)

ファックス:03-5500-7142

海洋空間データ基盤に関する国際会議 IHO MSDI Industry Demonstration Workshop and Open Forum

主催/ Co-hosted by 海上保安庁海洋情報部/ Hydrographic and Oceanographic Department, Japan Coast Guard (JHOD)
笹川平和財団海洋政策研究所 / Ocean Policy Research Institute, The Sasakawa Peace Foundation (OPRI-SPF)

場所 / Venue 日本科学未来館 未来館ホール/ Miraikan Hall, National Museum of Emerging Science and Innovation (Miraikan)

開催日/ Date 25-26 January, 2016

Programme / プログラム

25 January 2016 (Mon.) 第一部: 海洋空間データ基盤の事例紹介 Industry Demonstration Workshop

- 1230 開場 / Open of Hall
- 1330 開会の挨拶 / Opening Addresses
海上保安庁海洋情報部長 春日 茂 / Shigeru Kasuga, JHOD
笹川平和財団海洋政策研究所長 寺島 紘士 / Hiroshi Terashima, President, OPRI-SPF
国際水路機関理事長 ロバート・ウォード / Robert Word, President, IHO
- 1345 発表1: データ集約ワークフローのための自動測量作業 アンドリュー・ハガス(Caris)
Demo1: Autonomous survey operations driving data centric workflows
Andrew Hoggath (Caris)
- 1415 発表2: ブルーエコノミーを支援するデータ製品とサービス
ジョン・ペッパー(OceanWise)
Demo2: Data products and services supporting the Blue Economy
John Pepper (OceanWise)
- 1445 発表3: ジオレジストリー製品の開発 アラン・クリップ(Envita)
Demo3: Developments in GeoRegistry products
Alan Crisp (Envitia)
- 1515 休憩 / break
- 1530 発表4: 海洋空間データ基盤における位置情報のパワー
ラファエル・ポンス(Esri Inc.)
Demo4: The Power of Location in MSDI
Rafael Ponce (Esri Inc.)
- 1600 発表5: 海上交通とデータの相互運用性 エマ・フォラー(SevenCs)
Demo5: Marine Navigation and Data Interoperability
Emma Fowler (SevenCs)
- 1630 発表6: 水深、衛星データ及びクラウドソースデータのデータベース開発
ロバート・ウォード(IHO)
Demo6: Database development for bathymetry, satellite derived and crowd sourced data
Robert Ward (IHB)
- 1700 発表7: IJ と水路分野におけるデータ価値連鎖
ジョン・コヨン(IIC Technologies)
Demo7: IIC and the Data Value Chain for the Hydrographic community
John Conyon (IIC Technologies)
- 1730 第一部終了 / Closure of Workshop

26 January 2016 (Tue.) 第二部 海洋空間データ基盤の推進に向けて
MSDI Open Forum

0815 開場 / Open of Hall

0845 趣旨説明 ジェンス・ピーター・ハートマン(IHO-MSDI 作業部会議長)
Introduction Jens Peter Hartmann (Chair of IHO-MSDI)

0900 1. 国際的活動 / International Activities

発表 1-1: UNESCO 政府間海洋学委員会における海洋空間利用計画の取り組みと海洋情報サービスについて

道田 豊(東京大学/IOC-IODE 共同議長)
Marine Spatial Planning Initiative and Oceanographic Data Services by UNESCO/IOC
Yutaka Michida (Co-chair of IOC/IODE)

発表 1-2: 大洋州における MSDI のニーズと課題 サチンドラ・シン(SPC)
Needs and Challenges on MSDI in SOPAC and Pacific countries
Sachindra Singh (SPC)

発表 1-3: PEMSEA における総合沿岸域管理の取り組み 調整中

Activities of Integrated Coastal Management in PEMSEA
To be Arranged

発表 1-4: e-Navigation と海上デジタルインフラストラクチャー
野口 英毅 (海上保安庁/IALA e-Navigation 委員会副議長)
e-Navigation and Maritime Digital Infrastructure
Hideki Noguchi (Vice-Chair of IALA e-Navigation Committee)

1045 休憩 / break

1100 2. 日本の空間データ基盤に向けた取り組み / Japanese Approaches

発表 2-1: 日本の海洋空間情報の一元化: 日本の海洋台帳 藤田 雅之(内閣官房)
Integration of marine spatial data in Japan: "Japan's Marine Cadastre"
Masayuki Fujita (Cabinet Secretariat)

発表 2-2: 国連における地球規模地理空間情報管理に関する取り組みと日本の空間データ基盤戦略について 村上 広史(国土地理院)
UN-GGIM and National SDI Strategy Hiroshi Murakami (GSI)

発表 2-3: JAXA 衛星による海洋観測 石澤 淳一郎(JAXA)
Marine Observations using JAXA Satellites Junichiro Ishizawa (JAXA)

1215 昼食 / lunch

1315 3. 研究分野におけるニーズと課題 / Needs and Challenges in Academia

発表 3-1: 海上交通における海洋情報の活用 庄司 るり(東京海洋大学)
Utilization of maritime information in Ship Navigation
Ruri Shoji (Tokyo Univ. of MSAT)

発表 3-2: 東京湾における海洋環境管理に関する取り組み 古川 恵太(海洋政策研究所)
Challenges in Marine Environment Management in Tokyo Bay
Keita Furukawa (OPRI-SPF)

発表 3-3: 海洋災害への取り組み 富田 孝史(港湾空港技術研究所)
Marine Disaster Management Takashi Tomita (PARI)

1430 休憩 / break

